

(参考) ○○市・町・村 幼稚園教員育成指標

キャリアステージ		第0ステージ	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
		養成期	基礎形成期	発展期	充実・深化期	円熟期	
資質・能力		教育に対する知見を深め、求められる資質・能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、教員としての幅広い視野と能力の伸張を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅教員として各種の分掌主任等を経験することなどで一層の能力伸張を図る	発展期での経験をもとに、管理分野や指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力開発を図る	〇リーダーとして「幼稚園の目標達成マネジメント及び組織マネジメント」を推進する 〇エキスパート教員として園経営をサポートする	
		高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解することができる。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育活動を展開することができる。	高い倫理観をもつて、法令を遵守した教育活動を展開することについて、教職員に指導助言することができる。	高い倫理観をもつて、法令を遵守した教育活動を展開することについて、教職員に指導助言することができる。	高い倫理観をもつて、法令を遵守した教育活動を展開することについて、教職員に指導助言することができる。	
教職としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	事務処理能力	事務の内容について理解することができる。	学級事務の正確・丁寧な処理ができる。	学級・学年事務の正確・丁寧な処理ができる。	事務の処理ができ教職員の事務について点検できる。	
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴いたりすることができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明することができる。同時に、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整を図ることができる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明することができる。同時に、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整を図ることができる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明することができる。同時に、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整を図ることができる。	
	教育公務員の使命感と責任	使命感と熱意	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任、学年主任等として同僚へ助言をすることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、副園長や主任等として、同僚への指導助言をすることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、副園長や主任等として、同僚への指導助言をすることができる。	
教職の実践	指導と評価の力	指導計画の構想力	幼稚園教育要領等を理解するとともに、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開のイメージをもつことができる。	幼稚園教育要領等に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る指導計画の立案ができる。	幼稚園教育要領等及び自園の指導方針に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る指導計画の立案ができる。	幼稚園教育要領等及び自園の指導方針に基づき、育成を目指す資質・能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る指導計画を立案し、同僚へ指導助言ができる。	
		環境の構成と幼児への関わり	環境の構成や幼児への関わりに必要な基礎的な指導のスキルを獲得している。	基礎的な指導のスキルを生かした環境の構成や幼児への関わりができる。	幼児の実態に応じた環境の構成や幼児への関わりができる。	幼児の実態に応じた環境の構成や幼児への関わり、及び同僚への指導助言ができる。	幼児の実態に応じた環境の構成や幼児への関わり、及び同僚への指導助言ができる。
		幼児理解に基づいた評価と改善	幼児の発達をとらえる評価の意義と方法について理解することができる。	幼児一人一人の発達をとらえるとともに適切な指導の改善ができる。	ねらいを踏まえて適切な幼児理解と評価に基づく指導の改善ができる。	適切な幼児理解と評価やそれに基づく必要な指導の改善を同僚に指導助言ができる。	適切な幼児理解と評価に基づき、環境構成や指導の改善を行うとともに、カリキュラムの改善ができる。
	幼児理解と集団づくりの力	幼児理解	幼児理解の意義と重要性を理解することができる。	学級の幼児を取り巻く環境を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる。	園の幼児を取り巻く環境を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる。	園の幼児を取り巻く環境を理解し、必要な配慮などを園全体に発信することができる。	園の幼児を取り巻く環境について、教職員相互の理解を促進するとともに必要な改善を行うことができる。
組織としての園を支えるマネジメント力	組織としての園の理解と園経営	個と集団の指導や援助	・個や集団を指導するスキルを理解することができる。 ・小学校との連携の在り方を理解することができる。	・保護者や園内組織と連携して、個に応じた指導ができる。 ・小学校との交流会を計画、実施できる。	・関係機関等と連携した学年全体の指導ができる。 ・小学校と連携したカリキュラム作りができる。	・関係機関等と連携した園全体の指導や同僚への指導助言ができる。 ・小学校と連携のための組織づくりや計画の見直しができる。	
		組織としての園の理解と園経営	組織としての園や園務分掌を理解するとともに、学級担任の役割と職務内容を理解することができる。	園の教育目標を理解した上で学級経営の方針を策定し、実践することができる。	分掌主任、学年主任として、「園全体の組織的な取組」を意識した園経営を積極的に推進することができる。	「園全体の組織的な取組」を意識して、PDCAサイクルの進行管理を行うとともに、指導の改善や教育課程改善の充実に向け、同僚への指導助言ができる。	
	人材育成	学び続ける教員の重要性や教職員の協働性について理解することができる。	組織の一員として、役割を自覚し、教職員と協働した教育活動の展開ができる。	分掌主任、学年主任として、課題を共有できる環境作りをすることができる。	副園長、主任等として、課題を共有できる環境作りと同僚の積極的支援ができる。	・人材育成の重要性をふまえた環境の整備ができる。 ・園長の人材育成ビジョンに基づく人材育成の展開ができる。	
	危機管理	危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動を理解することができる。	安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応ができる。	危機の未然防止のための学校環境の抜本的改善及び危機の再発防止の推進ができる。	
家庭、地域との連携 子育て支援	・園行事等を通じて、家庭や地域との連携の重要性を理解することができる。 ・子育て支援の在り方について理解することができる。	・家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・実態に応じた子育て支援ができる。	・家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・自園の実態にふさわしい子育て支援を企画することができる。	・家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。 ・子育て支援のための環境作りや改善を進めることができる。	・「地域とともにある園」への転換と「協育」ネットワークの活用推進を図ることができる。 ・地域の関係機関と連携した子育て支援を充実することができる。		